

第38期第16回理事会議事録

日 時：2015年10月28日（水）17時05分～20時10分

会 場：京都テルサ 第9会議室

出席理事：新野 宏, 藤谷徳之助, 岩崎俊樹, 榎本 剛,
近藤 豊, 佐藤正樹, 佐藤 薫, 塩谷雅人,
竹見哲也, 田中 博, 中島映至, 中村健治,
中村 尚, 長谷部文雄, 廣岡俊彦, 藤部文昭,
三上正男, 山田和孝, 余田成男, 以上19名
(理事現在数20名)

出席監事：高谷康太郎, 以上1名

その他の出席者：上垣内 修 (気象庁), 真木敏郎
(気象庁), 向川 均 (京都大) (以上関西支
部), 渡辺 (事務局)

議 題

議事に先立ち新野理事長より秋季大会を担当した関
西支部に対して感謝の意が表明された。

1. 第38期第15回理事会議事録の確認

2. 会員の新規加入等について

新入会7, 退会6を全会一致で承認した。2015年
10月20日現在, 会員数3,551名で個人会員は3,301
名。

3. 日本学術会議防災学術連携体への参加について

日本学術会議防災学術連携体への参加について,
JpGU (日本地球惑星科学連合) を通じて気象学会
事務局に依頼があったことが報告され, 参加を全会
一致で承認した。今後, 連携体の委員2名と1月に
開催されるフォーラムにおいて気象学会の組み
組み状況を報告するスピーカーを決める必要があること
が報告された。

4. 各委員会からの報告

庶務…以下の報告があった。

1) 転載許可

①申請者：Cody Vaudrin (Univ. of Colorado)

転載元：Fig.1：Nishimura, K., *et al.*, 2006: Fine
Scale 3D Wind Field Observation With a
Multistatic Equatorial Atmosphere Radar, J.
Meteor. Soc. Japan, 84A, 227-238

転載先：The Colorado Software Defined
Radar: System Description and First Results
from a Multistatic Meteor Wind Radar Con-
figuration, the Radio Science AGU journal
(一部改変)

2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：第53回アイソトープ・放射線研究発表会

主催：公益社団法人日本アイソトープ協会

期日：2016年7月

場所：東京大学弥生講堂

名義：共催

3) 選挙管理委員会

選挙管理委員会の委員の構成について報告された。

4) その他

①10月8日 日本地球惑星科学連合 第13回学協会
長会議 (理事長出席)

②10月15日 第3回支部長会議

会計…2015年9月分の収支及び現預金検査報告。

企画調整…以下の報告があった。

- 大会運営の改善案について, 理事会として了承す
るとともに, 「天気」掲載の会員への意見照会案
についても承した。12月より, 会員からの意見
募集を開始する。

- 第2回評議員会に向けて, 第1回会合で評議員及
び名誉会員から示された意見に対する今後の対応
等に関するたたき台が示された。今後, 関連する
委員会で検討を行うこととなった。

講演企画…2016年度春季大会専門分科会の応募状況が
報告され, 申請を全会一致で承認した。また,
JpGUにおける気象学会主催セッションのテーマ
を, 「京」コンピュータによる次世代気象・気候・
環境予測シミュレーションとすることが報告され
た。

天気…Vol.62 No.10 (2015年10月号) の掲載記事と,
Vol.62 No.11, 12 (2015年11, 12月号) の予定記
事が報告された。また, 来年の出版について, 今
年と同じ業者になったことが報告された。

気象集誌…来年の出版及び英文校正について, 今年と
同じ業者になったことが報告された。また, 気象
集誌の可視性を高めるため, EBSCO と契約する
ことについて報告があった。

SOLA…年初からの投稿論文数が62編, 出版済みの論
文数が33編であることが報告された。ACM2015
特別号について, 参加者に宣伝したことが報告さ
れた。また, 気象集誌と同様に EBSCO と契約す
ることについて報告された。

気象研究ノート…第232号の刊行予定について報告された。

学術…JpGUの学術委員会の大型研究のマスタープランに関わる動向について報告された。また、「航空機観測による気候・地球システム科学研究の推進研究計画書」に関する意見募集を開始したことが報告された。また、我が国の地球観測の将来計画に関する提言サポートレターの発出について、全会一致で承認した。

気象災害…10月27日に実施した「平成27年9月関東・東北豪雨及び洪水災害に関する研究会」（メソ気象研究連絡会共催）の報告。

教育と普及…2016年度春季大会におけるジュニアセッションの実施要領について報告。2016年5月21日を予定し、関係機関にリーフレットを配布したことが報告された。また、基本的に2015年と同じ方針で進めることが報告された。

国際学術交流…Asian Conference on Meteorology (ACM) 2015が10月26、27日に京都大学で開催されたことが報告された。また、ACMに合わせて開催されたBusiness Meetingにおいて、ACM

に関する議定書に調印したことが報告された。

電子情報…気象学会サイトについて、英語サイトの拡充を計画していること、また、過去の予稿集のリンクの追加を行ったことが報告された。

人材育成・男女共同参画…秋季大会2日目の29日に女性会員のつどいを行うことが報告された。

5. 日本地球惑星連合 第13回学協会長会議報告
新野理事長から第13回学協会長会議の概要が報告された。また、高校理科検討委員会における地学教育の検討状況について情報共有を行った。

6. 原子力関連施設の事故に伴う放射性物質拡散に関する作業部会から

作業部会の報告「原子力関連施設の事故にともなう放射性物質の大気拡散に関する数値予測情報の活用策について」を原子力学会誌へ寄稿することが報告された。

平成27年12月14日

公益社団法人日本気象学会

理事長 新野 宏
監 事 高谷康太郎